

# ③ 姫路市立美術館を中核とした文化観光推進拠点計画

## 計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者)： 姫路市立美術館(姫路市)  
 文化観光推進事業者  
 ：(公社)姫路観光コンベンションビューロー・書寫山圓教寺  
 神姫バス(株)、神姫観光(株)、山陽電気鉄道(株)

## 計画期間

2021年度～ 2024年度(4年間)

## 目標

- ・外国人来訪者の満足度  
2020年度 82%→2024年度 92% (+10%)
- ・外国人来訪者数  
例年推定1.7千人→2024年度 3千人(1.8倍)  
※10年後(2030年度)には13千人(5倍)
- ・美術館への来館者数(総数)  
2020年度 52千人→2024年度 97.6千人(1.9倍)
- ・市内延べ宿泊者数  
2020年度 972千人→2024年度 1,577千人(1.6倍)

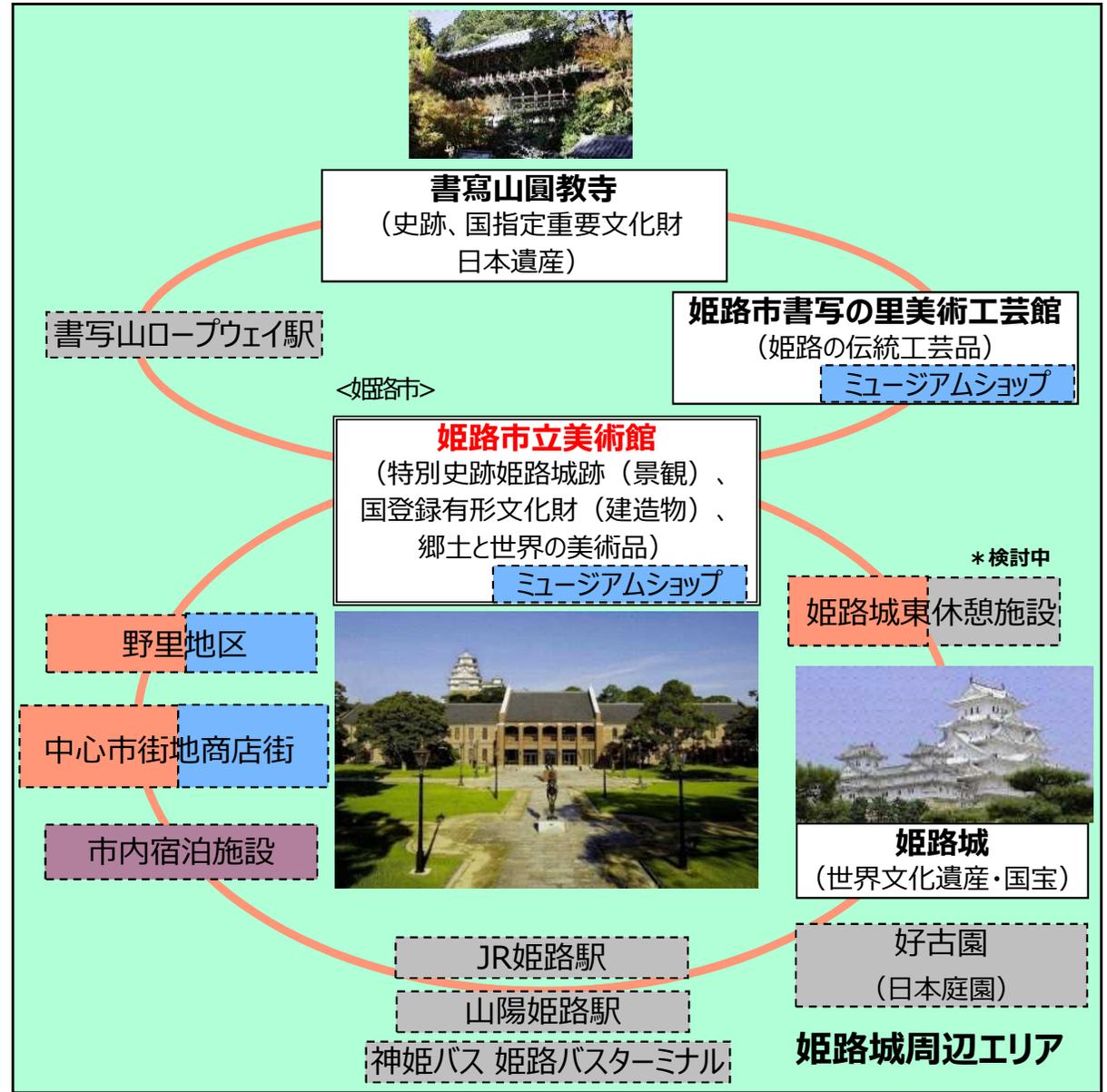
## 文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>  
・拠点施設や圓教寺でのアーティスト・イン・レジデンス
- <2.文化についての理解促進>  
・スマホで閲覧できる音声、高精細画像での作品解説ツール開発
- <3.文化観光に関する利便の増進>  
・豪華仕様のバスによる特別な瀬戸内アート体験ツアーの企画
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>  
・美術館と姫路城の間にカフェ・飲食機能を持つ休憩施設を整備
- <5.国内外への宣伝>  
・山陽電車(姫路～大阪方面)でのアート装飾列車の運行
- <6.施設又は設備の整備>  
・マスタープランに基づく美術館機能強化

## 文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

625百万円(うち、文化観光推進事業補助金176百万円)

## 計画区域



中核文化観光拠点施設  
(主要な文化資源)

主要な文化資源  
(文化財等の種類)

飲食施設  
販売施設

宿泊施設  
その他施設